

下地島空港旅客ターミナル施設名称を「みやこ下地島空港ターミナル」、 ロゴ・店舗概要・飲食機能の運営者を決定

～美しい海と珊瑚を象徴するロゴと、宮古の第二の空の玄関口を表す親しみやすい名称を採用、
沖縄 UDS が飲食施設の運営者として地元食材を積極利用～

下地島エアポートマネジメント株式会社（本社：沖縄県宮古島市、代表取締役社長：伴野賢太郎）は、三菱地所株式会社が沖縄県宮古島市で施設整備を進めている下地島空港旅客ターミナルについて、ロゴ・施設名称および店舗概要を決定するとともに、沖縄 UDS 株式会社（本社：沖縄県那覇市、代表取締役社長：岡崎勝彦、以下「沖縄 UDS」）を飲食施設の運営者として選定しました。

ロゴは地元宮古島市内のデザイン事務所「DESIGN MATCH」（オーナー：下地真千子）が中心となって創作しました。宮古の美しい海と活きた珊瑚がモチーフで、将来への継承の想いが込められています。ターミナル施設の名称は「宮古空港に次ぐ宮古の第二の空の玄関口」という意味を含め、親しみやすい「みやこ下地島空港ターミナル」とし、今後更なるターミナル施設の認知拡大を図っていきます。

Gateway to the Coral Island

 みやこ下地島空港ターミナル

▲下地島空港旅客ターミナル施設ロゴ

下地島空港の位置する宮古諸島は、豊かな自然を背景に、野菜、果物、肉類、魚介類など数多くの食材の産地であり、観光等で訪れる旅行者を魅了しています。下地島空港旅客ターミナル施設では、保安検査通過後の搭乗待合スペースに地域食材を使った料理を提供するカフェ等「coral port LOUNGE」をラウンジ棟に設置し、旅の終わりまで宮古諸島の食を楽しむ空間を提供します。また、到着口付近には同じく地域食材を使ったカフェを通じて旅の始まりから地域の食を楽しみたい旅行者のニーズに応えるとともに、飛行機を利用しない地元の方や観光客にも気軽に立ち寄っていただける飲食店を設けます。

これら飲食機能については、宮古島でのホテル運営を通じて地元生産者や地域と繋がり、地元食材を使用したメニュー考案の豊富な実績を持つ沖縄UDSに運営を委託することで、生産者や島の魅力を伝え、地元の食文化を発信する場として地域活性化への貢献も目指します。



▲「Coral Port Lounge」完成予想CG



▲飲食メニュー イメージ

<本件に関するお問い合わせ先>

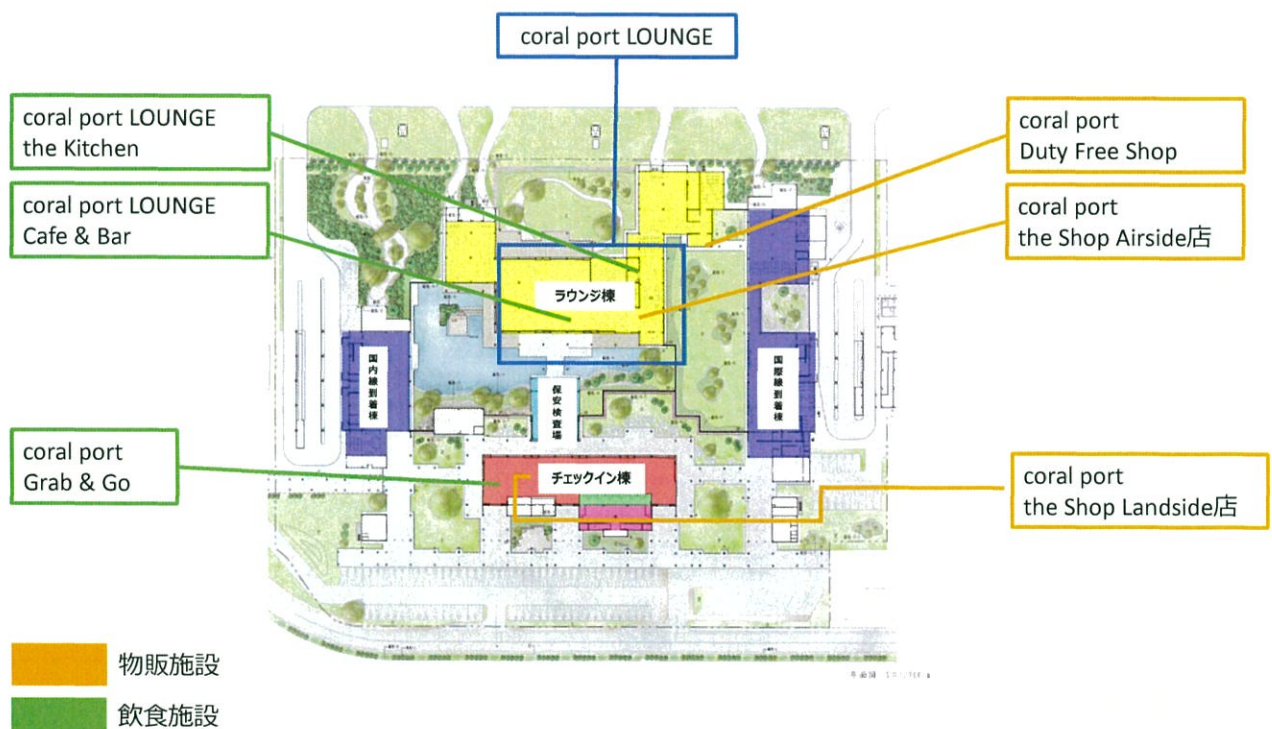
下地島エアポートマネジメント株式会社 企画部：0980-78-6365

沖縄 UDS 株式会社 マーケティング部：098-894-8655

店舗名称および機能説明

場所	名称	機能	取り扱い商品
チェックイン棟 (飛行機に乗らなくても利用可能)		飲食	<ul style="list-style-type: none"> ・食事 (サンドイッチ等の軽食・アイス等のデザート他) ・アルコール、ソフトドリンク * 地域食材を使用した彩り豊かなメニューを揃えております。 * 店内利用、テイクアウト、どちらも対応しております。
		物販	<ul style="list-style-type: none"> ・食品 ・酒類 ・雑貨 (日用品・アクセサリ等)
ラウンジ棟		飲食	<ul style="list-style-type: none"> ・食事 (そば類・ワンプレートメニュー・丼物等の定食他) ・おつまみ ・アルコール、ソフトドリンク * 地域食材を使用した彩り豊かなメニューを揃えております。
			
		物販	<ul style="list-style-type: none"> ・食品 ・酒類 ・雑貨 ・雑誌
		物販	<ul style="list-style-type: none"> ・免税品 (タバコ・酒類) ・食品

店舗名称と場所



■下地島エアポートマネジメント株式会社について

三菱地所株式会社が下地島空港旅客ターミナル施設の運営を目的として設立。

「空港から、リゾート、はじまる。」をコンセプトに、空港に到着した瞬間からリゾート体験を感じられる空間づくりを目指し、2019年3月30日の開業に向けて準備を進めています。

国内およびアジア地域を中心に航空路線の誘致活動を進め、国内屈指のリゾート地として人気の高い宮古諸島に国際線機能を整備し、国際的なリゾート地への更なる成長に貢献していきます。

商号	下地島エアポートマネジメント株式会社 (英文名称: Shimojishima Airport Management Co., Ltd.)
本店所在地	沖縄県宮古島市伊良部字佐和田 1727 番地
設立年月日	2018年1月24日
事業目的	空港ビルの管理運営、飲食物・物品の販売等
資本金	3億円
代表取締役社長	伴野 賢太郎

■沖縄 UDS 株式会社について

2016年10月に UDS 株式会社 100%出資の子会社として設立。

2018年1月にオープンした「ホテルローカス」を皮切りに、沖縄県各地で複数のホテル・リゾート施設の開業を進め、「沖縄の魅力を再発見し、地域の皆様とともに、国内外に伝える架け橋となるまちづくり」を大切にしている企業を目指しています。

商号	沖縄 UDS 株式会社
本店所在地	沖縄県那覇市牧志 2-16-8 BIT PLAZA ビル 3F
設立年月日	2016年10月3日
事業目的	ホテル運営・企画プロデュース
資本金	1000万円
代表取締役社長	岡崎 勝彦

<運営施設一覧（宮古島市内）>

- ・「HOTEL LOCUS（ホテルローカス）」（沖縄県宮古島市平良下里）
宮古島北西部、古くから宮古の良港として親しまれ利用されてきた平良港に面した「HOTEL LOCUS」が提案するのは「もうひとつのリゾートステイ」。従来の、あらゆる機能を集約し施設内で完結させるリゾートではなく、ホテルを拠点にお客様が島のあちこちに出かけていき、島全体を1つの魅力溢れるリゾートとして楽しんでいただける「体験型リゾート」です。
ホテル名の LOCUS は英語で位置、軌跡、活動の中心の意。「HOTEL LOCUS」では宮古島ならではのマリンスポーツなどはもちろんのこと、島に点在する食や、文化、スポット、人など、旅行者にはなかなか知ることのできないローカルの魅力をホテルオリジナルのプログラムとして編集し、豊富なアクティビティとしてお客様に提案いたします。
- ・宮古島東海岸プロジェクト（沖縄県宮古島市城辺）
宮古島市の東海岸エリアにおいて、ホテル計画進行中です。このエリアは周囲を丘に囲まれ手つかずの自然が残るプライベートリゾート感溢れる立地、日常から離れ、自分自身や家族やパートナーと向き合う時間を大切にしたいと考えるお客様のために、宮古島の中でもここでしか見る事のできない風景や時間の流れ、食、文化の体験を提供してまいります。

以上